

舞台芸術研究プロジェクト・北翔舞台芸術の活動記録2012年

著者	村松 幹男
雑誌名	Probe : 舞台芸術通信
号	7
ページ	40-44
発行年	2013-03
URL	http://id.nii.ac.jp/1136/00001162/

舞台芸術研究プロジェクト・北翔舞台芸術の活動記録2012年

村松 幹男（北翔大学／舞台芸術研究プロジェクト研究員）

舞台芸術研究プロジェクト・北翔舞台芸術（北翔大学生涯学習システム学部芸術メディア学科・北翔大学短期大学部人間総合学科舞台芸術系）の活動記録2012年

2012年の活動記録

1月

・1月21日（土）・22日（日） 北翔舞台芸術第14回定期公演「マクベス」（作・シェイクスピア）3ステージ。ポルトホール。2年目を中心とした定期公演。
・1月28日（土） 短期大学部人間総合学科服飾美術系、北翔大学芸術メディア学科服飾美術コース所属学生によるファッションショー「学外発表会」。25日～27日仕込み、リハーサル。舞台、照明、音響の手伝い。

3月

・3月10日（土）オーブンキャンパス（学生は、前日設営、当日照明・音響オペレーター）
・3月16日（金）卒業式。北翔大学短期大学部人間総

4月

合学科舞台芸術系7期生卒業。
・3月25日（日）「二人朗読会」 松井信子氏、安藤千鶴子氏による朗読会。舞台芸術研究プロジェクト共催。学生は舞台、照明、音響等の手伝い。

・4月3日（火）北翔大学短期大学部ライフデザイン学科ファッション舞台アートコース（学科名変更。通算で）9期生、北翔大学生涯学習システム学部芸術メディア学科舞台芸術コース4期生計17名入学。
・4月19日（木）、20日（金）、21日（土）3年目公演Vol.1.3「スターマン―2チャンネルのすべて」（作・岩松了）4ステージ。ラグリグラ劇場。
・4月21日（土）自治会新入生歓迎会。パル6F（音響・照明）前日は仕込み。
・4月22日（日）高校生ワークショップ（第1回 春の合同演劇祭）。ポルトホール。高校演劇部7校参加した連続公演。音響・照明の支援。なお、15日にリハーサルを行っている。

・ 4月28日(土)、
29日(日) 4年目
公演Vol.1「さ
らば北辺のカモ
メ」(作・鐘下辰
男)。4ステージ。
ラグリグラ劇場。

5月

・ 5月19日(土)、
20(日) 2年目定
期公演「人形の家」
(作・イブセン)。
4ステージ。ポル
トホール。

・ 5月27日(日) 第
6回さつぼろ高
校生演劇合同ワー
クシヨップ「雨ふり小僧」。ポルトホール。全般的な
支援。なおこの公演に伴うワークシヨップを以下の
ように行った。4月28日(土)、29日(日)、4月30
日(月)、5月5日(土)、5月6日(日)、5月12日
(土)、5月19日(土)、5月20日(日)、5月25日(金)。
仕込み・リハーサルは5月26日(土)。



2年目(8期生)定期公演 イブセン作「人形の家」

6月

・ 6月10日(日)、11日(月) 朝日町サンライズホー

ル1泊研修旅行。富良野演劇工場と隔年で行ってい
る恒例の研修旅行。10日は、旭山動物園を見学のあと、
サンライズホールで館長の漢(はた)氏より、レク
チャーを受けた。翌日は、バンド音響の実習をホー
ルで行った。

・ 6月16日(土) オープンキャンパス。照明・音響・ステー
ジ等の設営。6月15日(金) は仕込み。

7月

・ 7月12日(木) ～ 15日(日) 東京研修旅行。恒例の
東京研修。今年は、劇団四季「ライオンキング」観劇、
バックステージツアー、国立能楽堂施設見学、東京
宝塚劇場「ダンス、セレナータ」観劇、新国立劇場バッ
クステージツアー、小劇場にて「温室」観劇、早稲
田大学演劇博物館見学などをおこなった。田と村松
は「ダイアローグ イン ザ ダーク」体験及び卒
業生の所属する東京演劇アンサンブル「ラリィ」ぼ
くが言わずにいたこと」の観劇も行った。

・ 7月21日(土)、22日(日) オープンキャンパス。照明・
音響・ステージ等の設営。7月19日(木)、20日(金)
仕込み。

8月

・ 8月3日(金)、4日(土) 大学祭前夜祭、大学祭。
パル6F。8月1日より、照明・音響・ステージ等
の設営。

・ 8月4日(土)、5日(日) 1年目試演会「やわらか

い服を着て」(作・永井愛)。2ステージ。パル6F。

・8月7日(火) 砂川 地域交流センターゆうでのイベント「朗読の森」。北翔舞台芸術の2年目・3年目が授業の「地域と芸術」の一環として実施した。子どもたちを集めて、ゲームをした後、朗読を行った。照明・音響もセツティング。子どもたちの参加は10名ほどだった。

・8月13日(月)3年目の授業の「演劇史」の一環として、小樽能楽堂を見学した。

9月

・9月11日(火)、13日(木) バイオメカニクス学会。パル6Fの音響・照明のオペレート担当。10日(月)に仕込み。

・9月16日(日)オーブンキャンパス。照明・音響・ステージ等の設営



1年目(9期生)試演会 永井愛作「やわらかい服を着て」

ジ等の設営

・9月21日(金)、22日(土)2年目試演会「LOVE 30」―「スパイス・イン・ザ・バスケット」(作・三島ゆき)、「兄への伝言」(作・蓬萊竜太)―。3ステージ、パル6F。

・9月30日(日)北翔大学生と平岸高校生によるファッションショー「まいたりはおったり」。ポルトホール。平岸高等学校と芸術メディア学科との連携企画。平岸高校のデザインアートコースの生徒がデザイン。服飾美術の学生とのワークショップを経て、発表。北翔舞台芸術の学生は、会場設営、照明・音響を担当。28日(金)仕込み、29日(土)リハーサル。

10月

・10月21日(日)みんなおいでよ!2012江別「世界市民の集い。江別公民館。照明・音響の設営、オペレート。毎年行っているが、今までの記録では落ちていた。

11月

・11月6日(火)、7日(水)3年目・4年目公演「楽屋」(作・清水邦夫)。2ステージ。ポルトホール。3年目学生と4年目学生を合同にし、2チームにして連続公演を企画した。

・11月14日(水)、15日(木)3年目・4年目公演「隣りの男」(作・岩松了)。2ステージ。ポルトホール。
・11月23日(金)北海道立文学館・舞台芸術研究グループ主催「オホーツクのわらすっこ」(作・本山節彌)。

2ステージ。ポルトホール。北海道立文学館で行われた「戦後北海道の演劇」展（詳細は本号の特集参照）の特別企画として、北翔舞台芸術の1年目学生を中心に、高島克明氏（元高校教諭）、大坪久美子氏を迎えて公演された。本作品は、1966年に北海道から高校演劇全国大会に初参加し、最優秀賞を受賞した伝説的な名作である。

12月

- ・12月9日（日）北海道立文学館主催公演「老船長の幻覚」（作・有島武郎）。1ステージ。北海道文学館。「戦後北海道の演劇」展の特別企画。北翔舞台芸術の3年目、4年目を中心に行った。昨年、有島記念館で公演したものの再演。老船長役に今回も菅村敬次郎氏（元高校教諭）を迎えた。
- ・12月15日（土）学外発表会（ファッションショー）「百花繚乱」。2ステージ。ポルトホール。照明・音響・ステージ設営の手伝いやオペレーター。
- ・12月20日（木）室蘭遠征公演「売り言葉」（作・野田秀樹）。1ステージ。室蘭市民会館。4年の市川薫の強い希望で一人芝居が実現した。なお、終演後短い時間ではあったが、二年ぶりに第2回「演劇をこころざす人々のための劇づくり研修会」を開催した。
- ・12月23日（日）学生有志企画 翔フェス。パル6F。今年が第1回目のイベント。音響・照明・ステージ等の設営、オペレーター。

今年、舞台芸術コースの完成年度となり、初めて1年生から4年生までが揃った。各学年、原則最低2本の公演を行うことにしている。8本の公演は当初から予定されていた。それに北海道立文学館の「戦後北海道の演劇」展関連の芝居があり、4年の市川の一人芝居もあり、結局、2012年のプロジェクト・北翔舞台芸術が行った公演は11本になった。市川薫の一人芝居に刺激を受け、卒業年次には自分も演りたいという学生も出てきていて、来年も怒涛の公演ラッシュになりそうである。

附属劇団について

昨年、附属劇団を設立し、今年8月の公演に向けて稽古をしてきたが、公演直前に役者の一人が病気になる、公演中止になってしまった。その後休止状態となっている。来年は体制の変更も含めて再スタートする。



室蘭遠征公演市川薫一人芝居
野田秀樹作「売り言葉」

北翔舞台芸術 2012 年 (1 月～12 月) 上演作品フライヤー



1 月 マクベス
2 年 (7 期生)



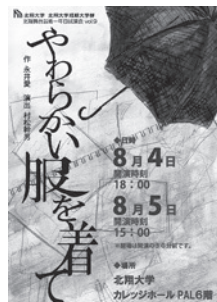
4 月 スターマン
3 年 (7 期生)



4 月 さらば北辺のカメメ
4 年 (6 期生)



5 月 人形の家
2 年 (8 期生)



8 月 やわらかい服を着て
1 年生 (9 期生)



9 月 LOVE30
2 年 (8 期生)



11 月 楽屋 / 隣の男
3・4 年合同
(7 期生・6 期生)



11 月 オホーツクのわらすっこ
1 年生 (9 期生) 中心



11 月 老船長の幻覚
3・4 年合同
(7 期生・6 期生)



12 月 売り言葉
市川薫一人芝居 (4 年)
スタッフ (1～4 年)

※フライヤーは全て学生がデザインしています。